

平成24年6月26日

岐阜県中小企業団体中央会
会長 辻 正 様

岐阜県高等学校長協会
会長 鹿 野 孝 紀

要 望 書

日ごろは、本県の高等学校及び特別支援学校の教育につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県の平成24年3月新規高等学校卒業生については、就職希望者が前年度よりも多く、しかも、求人倍率が前年を下回る過去最低の1.18倍と低迷する状況にも関わらず、就職内定率は、岐阜労働局調査99.2%、文部科学省調査96.6%となり、いずれも前年並みの結果を得ることができました。このことは、貴団体をはじめ関係者の皆様方の格別のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本年度につきましても、平成25年3月新規高等学校卒業予定者への求人活動が始まりました。東日本大震災から1年3か月経過し、各方面の復興が本格化し景況も徐々に回復するものと期待しておりますが、内外の経済を取り巻く状況は先行き不透明な要素が多く、来春卒業予定者の就職見通しについて大変心配しているところです。

どうか今後の産業と地域社会を担う若者に希望や能力・適性等を生かすことのできる職場を是非とも提供していただきますよう、特段のご理解とご配慮をお願い申し上げます。

1 求人確保、採用枠の拡大について

本県には、高等学校を卒業後ただちに就職を希望する生徒が例年4千人以上いますが、就職が厳しいことからやむを得ず進学に変更していく者も多数存在しています。新規高卒者の県内就職率は例年75%前後と高く、県内企業に支えられております。今後とも、本県の将来を担う優秀な生徒が一人でも多く働く機会を与えていただきますよう格別のご配慮をお願いいたします。

2 インターンシップ等の機会の提供について

高等学校及び特別支援学校におきましては、「キャリア教育の推進」を掲げ、社会的・職業的自立に向けて必要となる基礎的能力の育成と望ましい勤労観・職業観等の価値観形成を目指して、インターンシップや産業現場見学、企業関係者を講師とする進路講話等の実施など、啓発的体験学習を積極的に進めております。キャリア教育の一層の充実に向けて、インターンシップの受け入れなど、貴団体所属会員の皆様方にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

3 岐阜県内における高等学校卒業生の就職慣行について

本県の就職慣行申し合わせにより、本年も11月1日以降、一人2社の応募・推薦が可能となっております。高等学校としましては、この就職慣行申し合わせの実施による混乱がないよう、生徒や保護者への説明に努めておりますが、貴団体におかれましても円滑に運用されるように関係企業の皆様方に周知をお願いいたします。

4 特別支援学校卒業生への支援について

特別支援学校高等部では、生徒の障がいに応じて職業教育や就業体験を実施するとともに、各種援助制度を利用しながら卒業後の就業生活が実現できるよう取り組んでいます。昨年度高等部卒業生342人の内一般就労は117人(34.2%)でしたが、今後生徒数は増加していきます。障がい者雇用についても、特段のご理解とご配慮をお願いいたします。